

第3章 住民意向調査

1. 住民意向の把握

市民が、都市整備についてどのように思っているのか、アンケートによる調査を行いました。

1-1. 調査の目的

中野市都市計画マスタープラン策定にあたり、中野市民や中野市出身者の視点から土地利用や都市計画にかかわる施策のための意見や要望を把握し、基礎資料とするため実施した。

1-2. 調査の方法・手順

アンケート調査概要については、以下のとおりである。

調査対象) 中野市民及び中野市出身者(信州中野会)の男女3,000人を対象

2,978通(発送準備数のうち、住居不明等を除いた数)
中野市民:2,830通 / 信州中野会:148通

調査方法) 郵送による配布及び回収

調査期間) 平成19年12月7日(金) ~ 平成19年12月21日(金)

※但し、平成19年12月31日までの到着分を有効とした。

1-3. 回収結果

アンケート票の回収結果は以下のとおりである。

有効回収数 : 846 サンプル (28.4%)

中野市民 : 795 サンプル (28.1%)
中野市出身者 : 51 サンプル (34.5%)
(信州中野会)

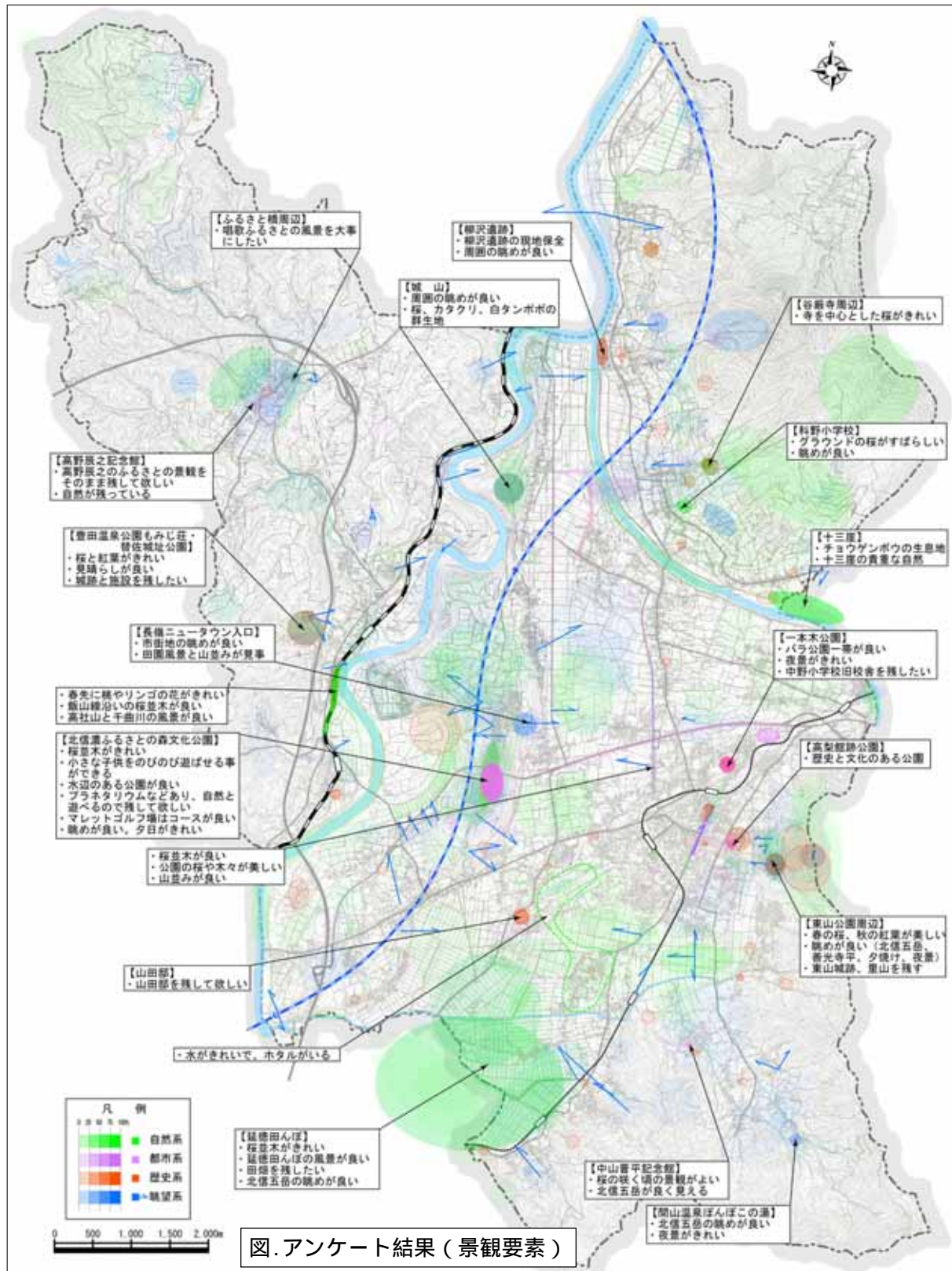
1-4. 注意事項

- ①集計結果は、設問ごとに四捨五入し小数点第一位までを表記している。
よって、合計が100%にならない場合がある。
- ②単純回答の設問において、複数回答あるものについては、すべての回答を対象に加えた。よって、合計が回収サンプル数を超える場合がある。
- ③アンケート調査による全設問から抜粋して記載した。その他の設問については集計結果報告書に整理している。
さらに各設問において、上位の回答項目のみを抜粋して記載した。

1-5 . 集計結果

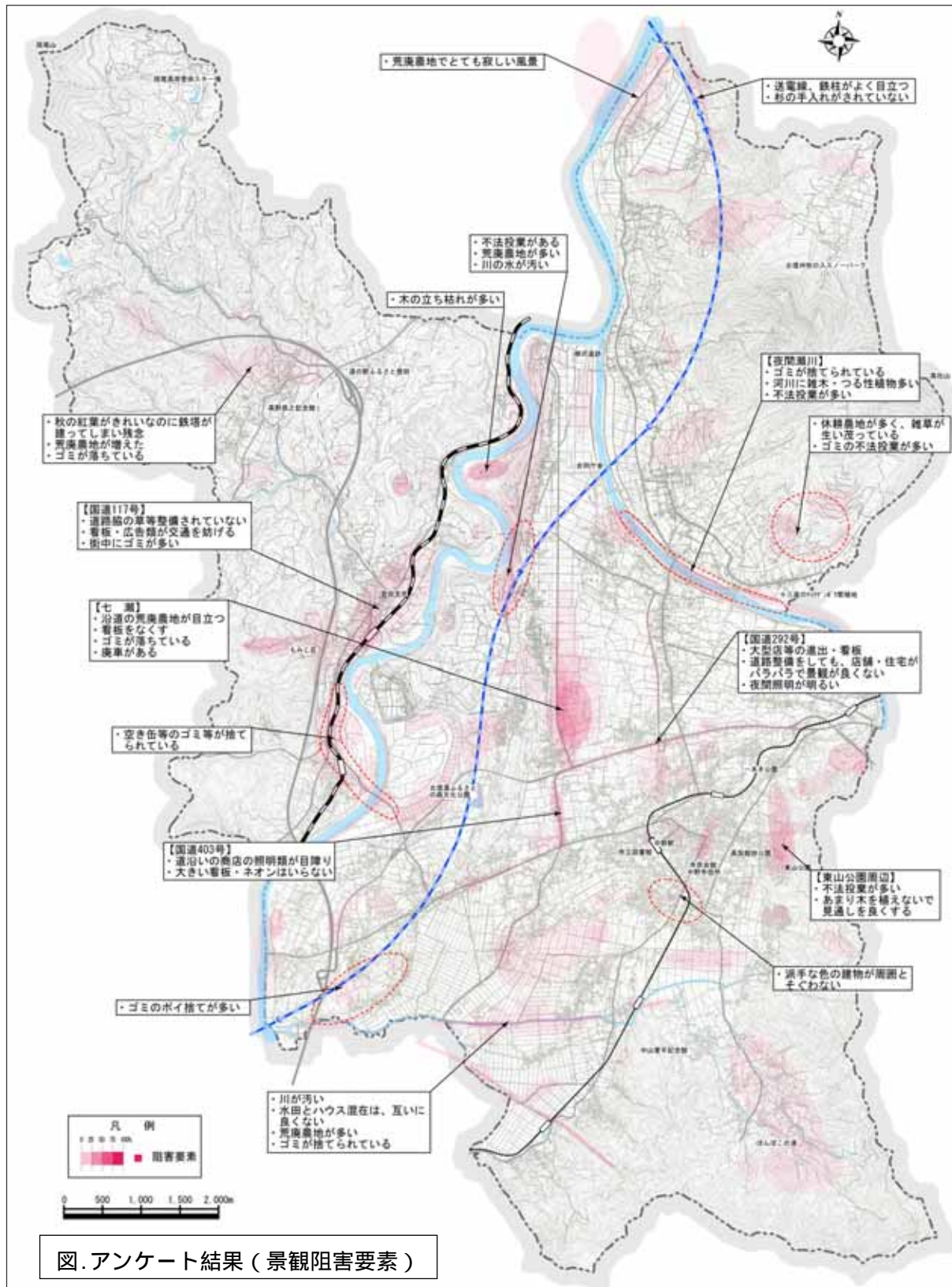
(1) お住まいの地域で「魅力に思う場所」や「自慢できる場所」、「残したい場所」はどこですか？

本市の魅力ある場所は、高社山や一本木公園・北信濃ふるさとの森文化公園・浜津ケ池公園、高野辰之記念館周辺、柳沢遺跡など自然から歴史・文化施設まであります。



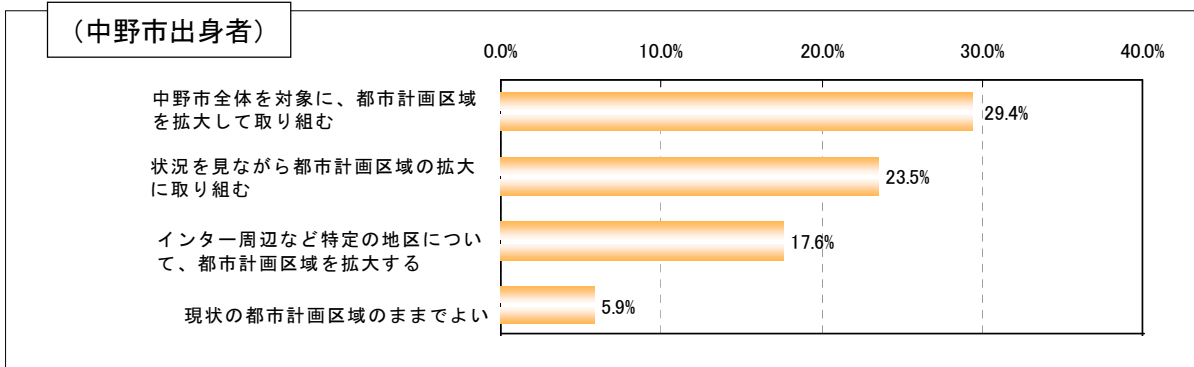
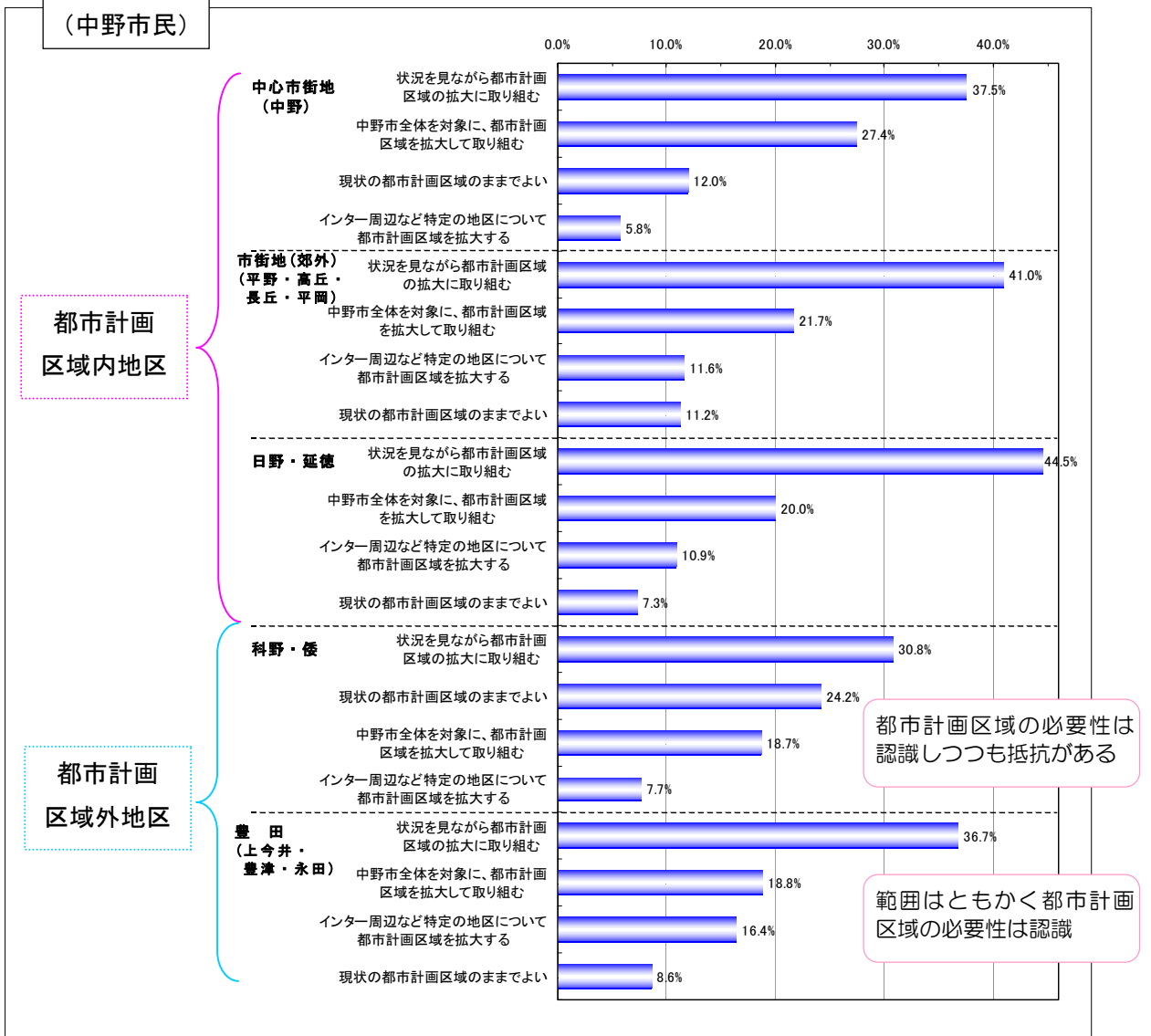
(2) 地域で「魅力を損ねている場所」「問題のある場所」はどこですか？

本市で魅力を損ねている場所や要因では、道路や河川へのポイ捨て、集落を離れた場所への投棄、遊休荒廃農地の増加等が指摘されています。



(3) 現在、北部地域や豊田地域などは、都市計画区域がありません。
この地域で、土地利用の計画的な誘導や制限について必要ですか？

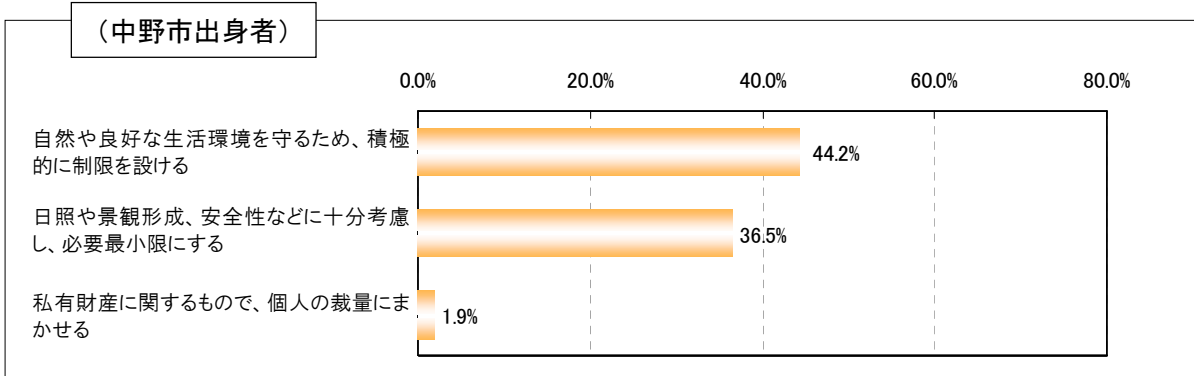
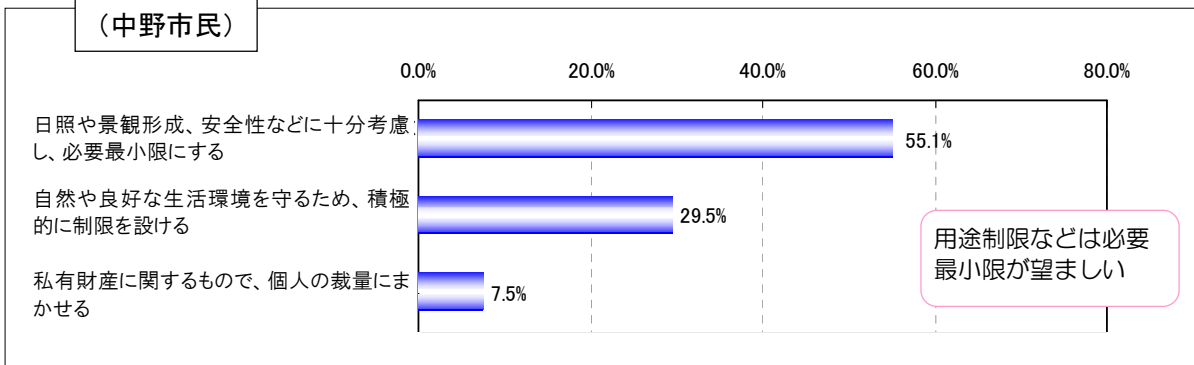
- 状況をみながら、都市計画区域の拡大に取り組むことが望ましい
- 中野市全体を都市計画区域に拡大することが望ましいが慎重な対応が必要



3 住民意向調査

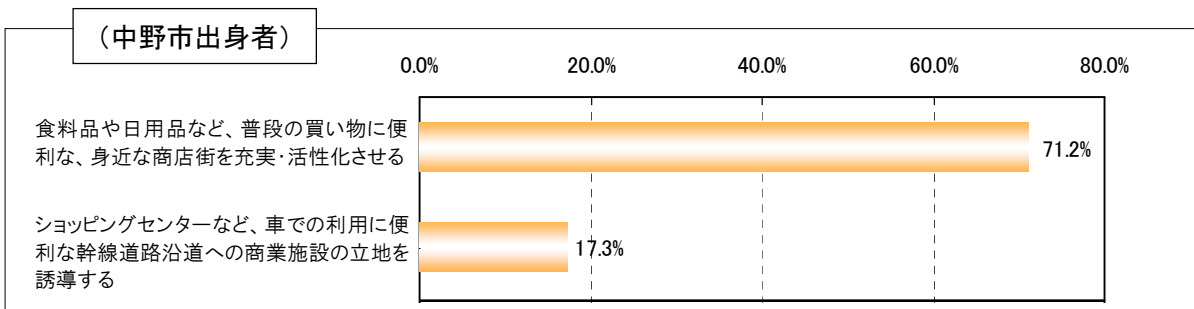
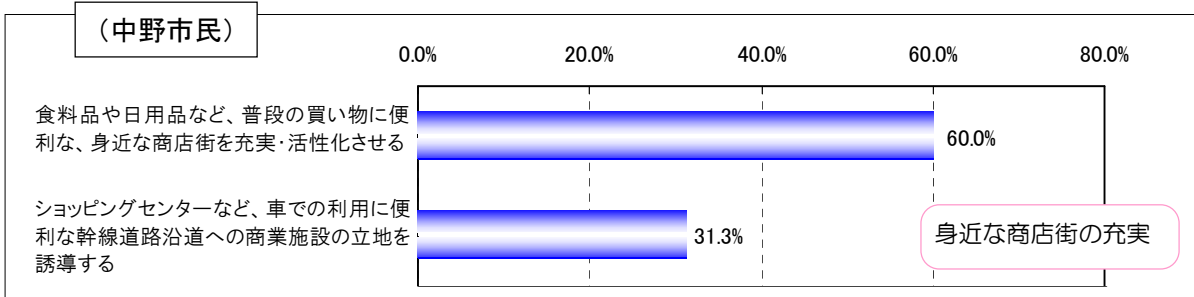
(4) 農地や緑地を宅地化することを制限したり、建てられる建物の種類（工場や店舗など）や大きさ、高さなどを制限したりすることによってどのように考えますか？

- 市民は、日照や景観形成、安全性などに考慮し、必要最小限にすることが望まれる
- 出身者からは、自然や生活環境を守るために積極的に制限を設けてほしい



(5) 今後の商業地のあり方についてどう考えますか？

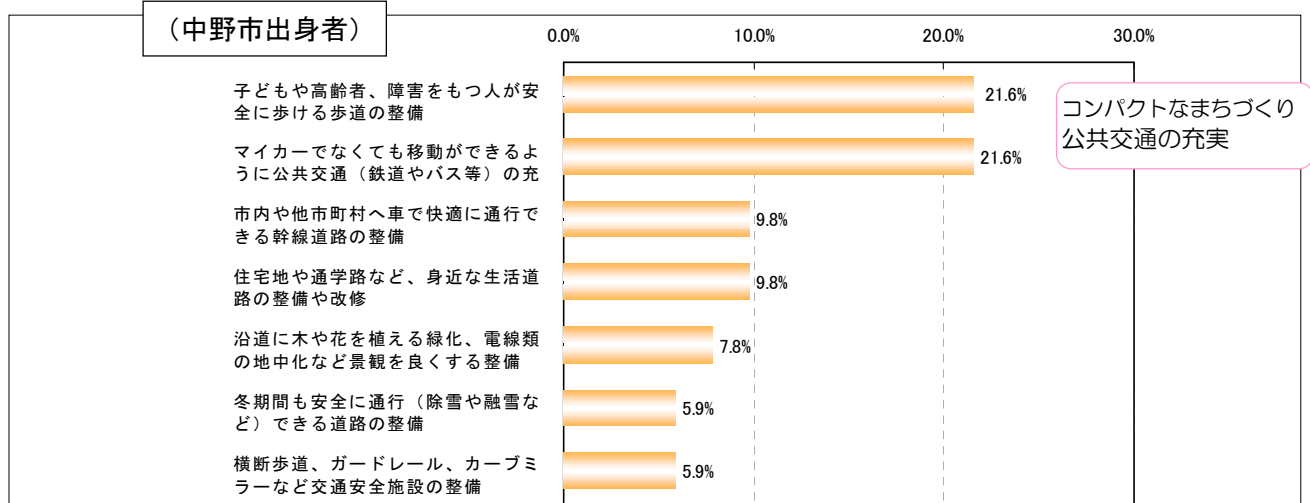
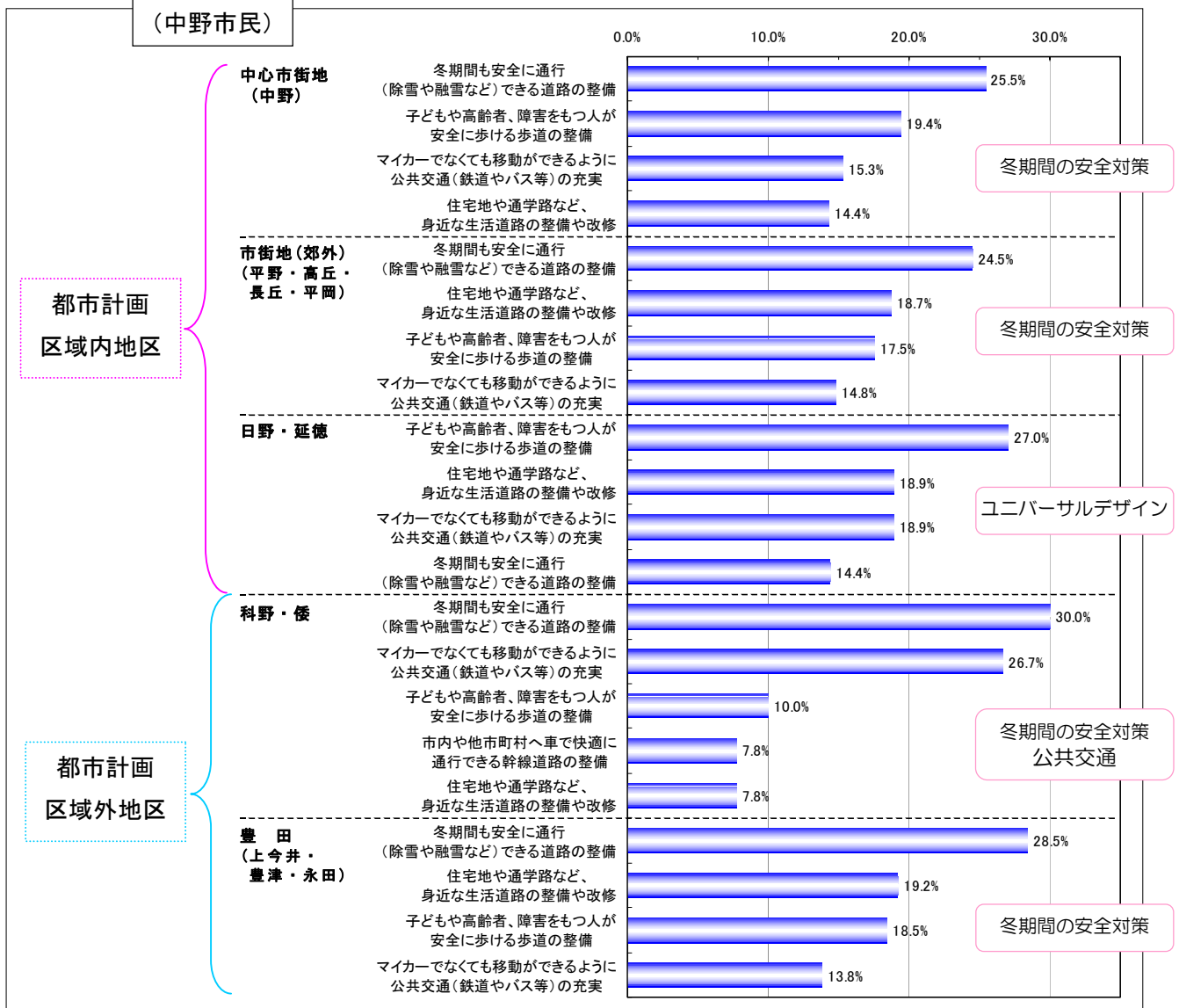
- 身近な商店街の拡充と大規模小売店の利便性の両立が望まれる



3 住民意向調査

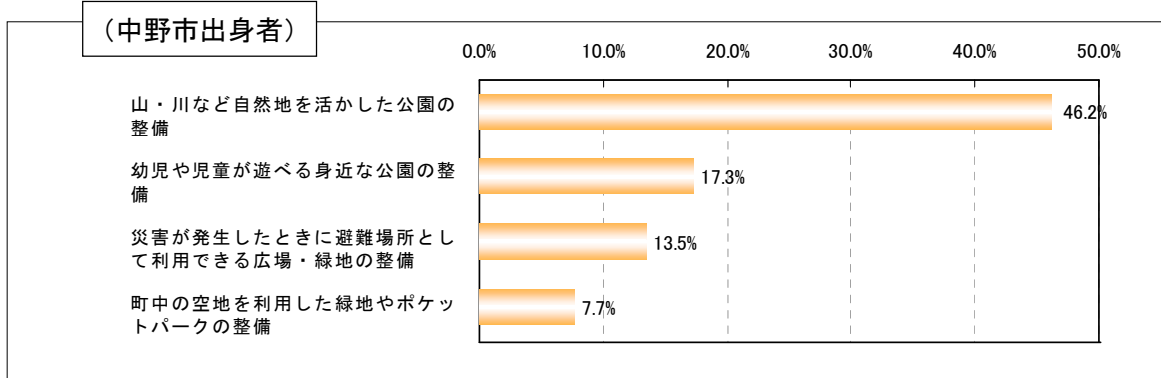
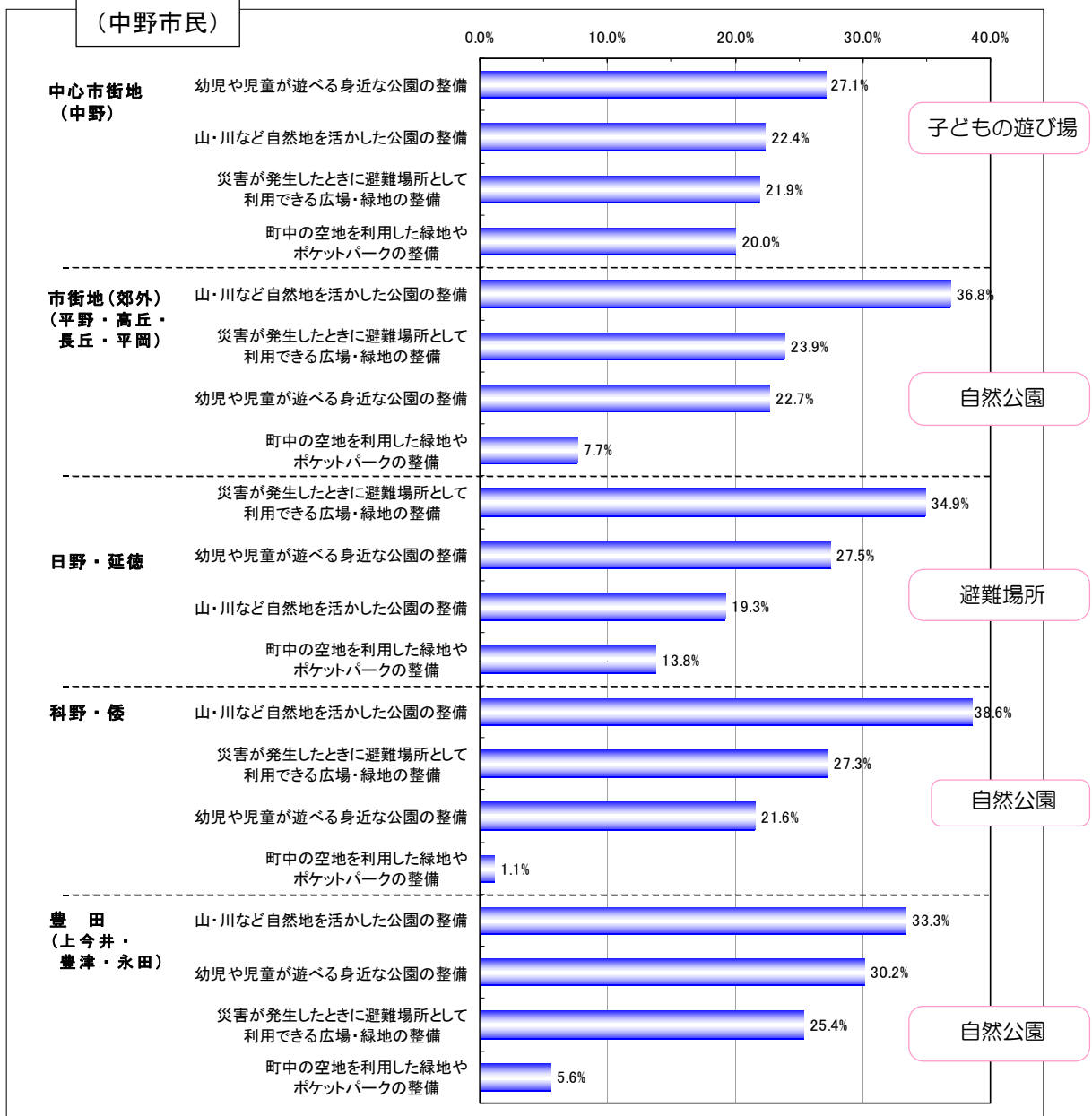
(6) 『道路・公共交通』に対して、どのような整備が必要だとお考えですか？

- 中野市全般では、冬期間も安全に通行できる道路の確保が望まれる
- 地域別には、“子どもや高齢者に優しい道路”等の要望が多い



(7) 『公園や緑地』についてどのようにお考えですか。

● 地域によって求められる機能が異なる公園
 (自然を生かした公園、子どもの遊べる公園、避難場所となる公園)



2. アンケート結果からみる課題

アンケート結果から都市整備に関する問題点などの課題を整理しました。

項目	住民意向（アンケート結果）	都市整備に関する課題
都市計画区域の拡大について	【中野市民】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市計画区域内地域からみると拡大が望ましい ○ 日野・延徳や豊田地域では都市計画区域の拡大要望が高い ○ 科野・倭地域では、やや否定的 【中野市出身者】 <ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけ都市計画区域を拡大して取り組んで欲しい 	■ 慎重かつ計画的な都市計画区域の検討
農地の開発制限や用途地域の指定について	【中野市民】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 景観形成や安全性に考慮しつつ規制を最小限にする但し住宅や工場が混在しないようにする 【中野市出身者】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然や生活環境を守るため積極的に制限してほしい 	■ 建物用途の適正な誘導
商業施設のあり方について	【中野市民】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や年齢層を問わず、食料品や日用品は身近に買物できる商店街が望ましい ○ 郊外型商業施設の利便性も一方では必要 【中野市出身者】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 食料品や日用品は身近に買物できる商店街が望ましい 	■ 市街地・集落地の商店と郊外型大規模店舗との共存
道路・公共交通について	【中野市民、中野市出身者ともに】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての地域で冬期間の安全対策が最優先 ○ 全ての人が安全に歩ける歩道の整備 ○ 公共交通の充実(特に科野・倭) 	■ 生活道路の改善 ■ ユニバーサルデザイン化 ■ 公共交通の活用と維持
公園や緑地について	【中野市民】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然を生かした公園、子どもが遊べる公園、災害時の避難場所が求められる機能 【中野市出身者】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然を生かした公園を要望 	■ 既存施設の維持・活用 ■ 身近な公園の拡充 ■ 都市防災上の空地確保
本市の景観について	【中野市民】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高社山や千曲川を中心とした自然環境・景観（農地・桜・蛍、河川、眺めがキーワード） ○ 唱歌“故郷”の風景を残す豊田の景色 ○ 柳沢遺跡や歴史的建造物など文化遺産の保全 ○ 遊休荒廃農地を景観形成からも活用したい ○ 建築物の色彩が町並み景観に馴染んでいない 【中野市出身者】 <ul style="list-style-type: none"> ○ “ふるさと”の風景を残すために農地や住民協定等を守る取組みを要望 	■ 農地や自然地の保全施策 ■ 歴史・文化財の保全 ■ 住民協定や景観計画等の検討 ■ 遊休荒廃農地の活用